

# 「十三」

## 伊能忠敬の生き方に学ぶ

校長 荒屋 誠

生徒の皆さんは、伊能忠敬という人物のことを覚えていますか。社会科でも学習したと思いますが、江戸時代の終わりに正確な日本の地図をつくった人物です。18歳の時に酒造りを営む伊能家に養子に入りました。当時、伊能家の経済状況は大変厳しく、忠敬は、朝から晩まで一生懸命に働いて伊能家の酒造りなどを立て直しました。

忠敬は、若い頃から地図をつくる仕事をしてきたわけではありません。忠敬が、地図をつくらうと考えたのは、50歳になって酒造りの仕事を引退してからなのです。しかも、地図をつくることを教えてくれる高橋至時先生は、忠敬より19歳も年下の自分の息子より若い先生でした。

当時、自分の故郷を離れて江戸に出て、息子より年下の先生に一から学ぶというのは、簡単なことではありませんでした。しかし、忠敬は寝る間を惜しみ天体観測や測量などをしっかり学び、地図をつくるため、73歳になるまで全国各地の様々な場所に出かけました。忠敬にとっては、年をとってからの旅だったことから、大変な苦労があったと思います。それでも、弱音を吐くことなく、17年間も日本全国を歩き、73歳までに多くの地図を完成させました。その正確は、現在の地図と比べても見劣りしません。

私たちは、よく「時間がないから勉強できない」と言うことがあります。忠敬のような人物には、なろうと思ってもなかなかできるものではありません。しかし、最初から「なれない」と諦めないで、少しでも、忠敬に近づく努力をすることが大切だと思います。

私は、これを機会に、生徒の皆さんに歴史に関する本に親しむことをお勧めします。歴史には、これまでの人類の営みが凝縮されています。政治も経済も芸術も宗教も、全て歴史を通じて参照することができます。また、歴史上の人物の生き方や考え方から多くのことを学ぶことができます。図書室には歴史小説や伝記をはじめとする歴史に関する本が多くありますので、ぜひ手に取って読んで欲しいと思います。

### ◆◆◆ 2学期のアクションプランの取組について ◆◆◆

#### アクションプラン1 主体的に学ぶ生徒の育成

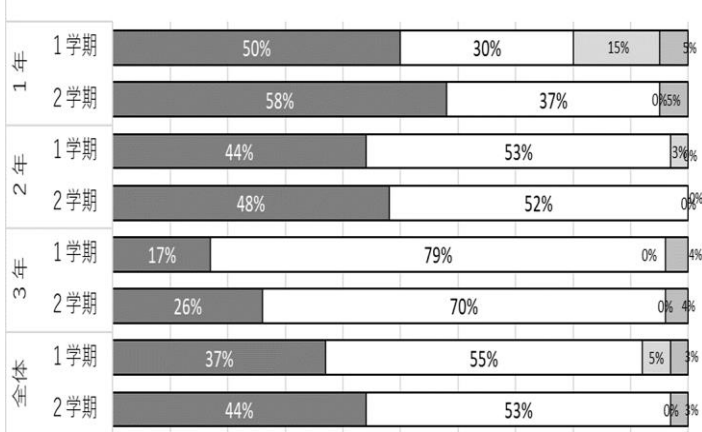
アクションプラン1のキーワードは、「主体的に学ぶ生徒の育成」です。生徒が学習意識を高められるような課題を設定したり、話し合いの場を充実させたりと、工夫をしながら授業実践を重ねてきました。タブレット端末等のICTの活用や、ペアやグループ等様々な学習形態で友達と学び合うことを通して、自分自身の考えを広めたり深めたりすることができたようです。

さらに、「総合的な学習の時間」等では、自分で決めたテーマについて調査し、レポートやプレゼンテーションにまとめ、発表する探究的な活動に取り組みました。

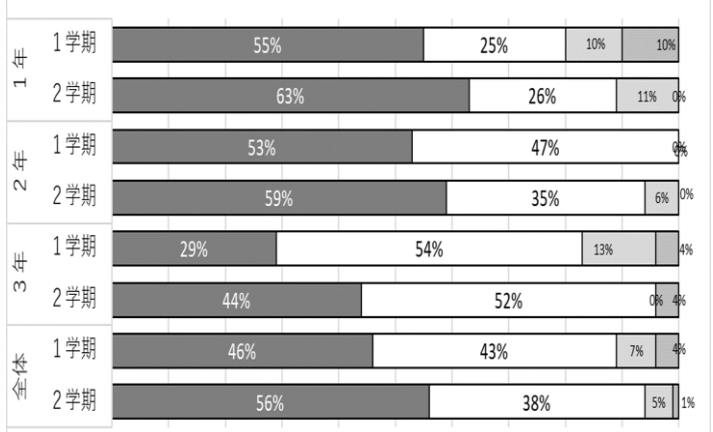
今後も、基礎・基本の定着を図るとともに、学び合いを通して高め合う学習集団づくりに努めていきます。

**【学校評価アンケート(生徒)の結果】**

**1 授業では、課題に対して自分で考え、進んで取り組むことができた。**



**2 授業では、友達の意見や考えを聞いて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。**



■ 4: よくできた □ 3: だいたいできた ▨ 2: あまりできなかった □ 1: 全くできなかった



〔1年総合〕



〔2年国語〕



〔3年数学〕

**アクションプラン2 認め合い、高め合う生徒の育成**

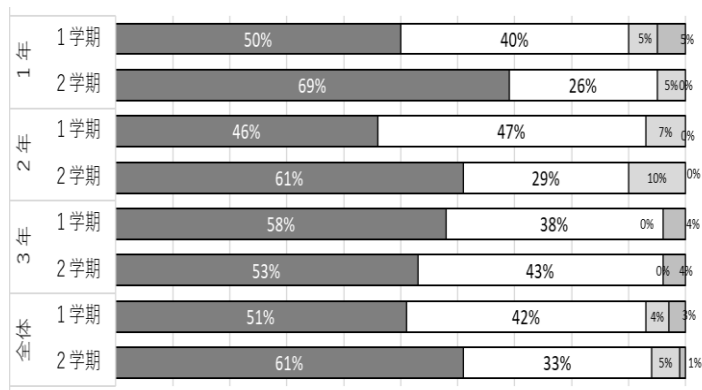
アクションプラン2のキーワードは「認め合い、高め合う生徒の育成」です。2学期は運動会や文化活動発表会等の学校行事を通して、友達のよさに気付くとともに、自分自身の成長を感じることができた生徒も多かったようです。また、生徒会の中心が3年生から2年生へと引き継がれ、「煌(きらめき)」～一人一人が輝き、学校生活を彩る～のテーマのもと、伝統を守りつつ、新たな活動にも挑戦しています。今後も様々な体験活動を通して、認め合い高め合う集団づくりを目指していきます。



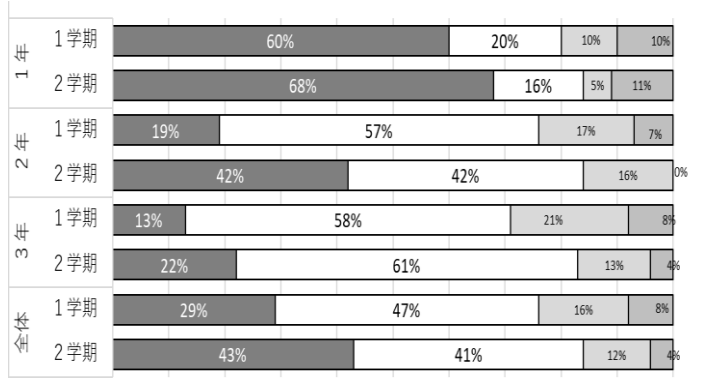
〔生徒総会〕

**【学校評価アンケート(生徒)の結果】**

**3 友達や集団のために自分ができることを進んで実践できた。**



**4 自分にはよいところがあると思うことができた。**



■ 4: よくできた □ 3: だいたいできた ▨ 2: あまりできなかった □ 1: 全くできなかった

